

○『20春闘』みんなのチカラで生活改善へ大幅賃上げを!
 ○大企業・富裕層に「応分負担」を求め、格差の是正を!
 ○すべての単組・組合員が地域から行動に結集しよう!



第516号

発行所
 自治労連愛媛県本部
 〒790-0001 愛媛県松山市1-10-3
 電話 075-931-7314
 FAX 075-931-1649
 E-mail: shimin@shimin.or.jp
 発行人 高尾 洋
 編集人 丸尾 洋

日程

- 【1月】
- 18 医療介護評幹事会 (内子)
 - 19 県本部保育部会幹事会
 - 20 くらしと営業を守れ集会
 - 22 東予総支部代表者会議
 - 24 大洲市職定期大会
自治労連中央委員会 (京都~25)
 - 26 自治労連医療部会・政府等要請 (東京~27)
 - 27 自治体問題研究所例会
 - 29 南予総支部代表者会議
- 【2月】
- 1 非正規公共全国交流集會 (長野~2)
 - 5 書記部会総会・共済研修会 (県本部)
 - 8 県本部2020中央委員会労働安全衛生学習会
自治労連都市職町村職学習交流集會 (高知~9)
 - 11 青プロ四国第4回実行委員会 (四国中央)
 - 14 自治労連共済学校 (新潟~15)
 - 23 県本部女性部幹事会

「要求活動」「職場への」「仲間への」「組合活動の原則」



人員増とあわせた
時間外上限の規制を

2020年がはじまりました。働き方改革関連法が施行され、労働時間管理の徹底が求められます。公務職場でも「客観的な勤務時間の把握・管理」、月45・年360時間を原則とする「時間外労働の上限規制」が導入されてきました。県内自治体では客観的時間管理として、IC・タイムカード、パソコンのログなどによる時間管理が進められる一方、出勤簿・自己申告といった自治体もあります。また「他律的業務」については、時間外上限の原則を超えて勤務できるとされていますが、その定義があいまいなまま

「会計年度任用職員」働き続けられる制度に

4月から「会計年度任用職員制度」がはじまります。これまでの臨時・非常勤・嘱託職員といった任用を厳格化し、会計年度任用職員に移行するとともに、フルタイム勤務は一時金とあわせ退職手当を支給するなどの改善点もありますが、フルタイムより短い勤務は全てパートタイムとされ、待遇面での格差は大きくなっています。県内自治体では関連する条例が制定されましたが、労働条件が未確定となっている



【現業評】
県教委の学校給食担当へ
「実状」伝え改善・助言を要請

県本部現業評議会は12月26日、県教育委員会「学校給食担当課要請」を実施し5単組9人が参加。県教委の保健体育課が対応。「教育の一環として安全で豊かな学校給食を求める要請書」を提出。県本部から「各組合が市町理事者・教育委員会と協議・交渉しているが、厳しさを増す調理場の実状を県教委に認識いただき改善努力を」と伝え、調理場の現場実状を各単組代表が発言。「調理員の正規採用を。正規調理員のない調理場をつくらないでほしい」「会計年度職員への移行



公務の仕事は

市民生活の安全と

幸せを支える仕事です



加。県教委の保健体育課が対応。「教育の一環として安全で豊かな学校給食を求める要請書」を提出。県本部から「各組合が市町理事者・教育委員会と協議・交渉しているが、厳しさを増す調理場の実状を県教委に認識いただき改善努力を」と伝え、調理場の現場実状を各単組代表が発言。「調理員の正規採用を。正規調理員のない調理場をつくらないでほしい」「会計年度職員への移行

「定年年齢引き上げ」定年まで働ける制度を

昨年末の新聞報道で「国家公務員の定年を60歳から65歳へ段階的に引き上げる国家公務員法などの改正案を1月からの通常国会で提出する方向で調整」と報じており、定年引き上げのペースは2年に1歳ずつと3年に1歳ずつの案があるとき



【女性部】
定期大会と「働きやすい職場をめざす
ワークショップ」で交流し討論

自治労連四国ブロックは12月7日「定期総会」を開催し69人が参加。午後は「事前会議」、午後は「四国ブロック定期総会」が行われました。午後の『労働学校』では、「働く誇りと働きがい」が持てる職場・仕事を つくるために『民主的自治体労働者論』の学習と実践こそ、その大きな足掛かりのテーマで、猿橋均さん(前自治労連中央執行委員長)の話を聞き学習。最初に『民主的自治体労働者論』の3つの実践例を聞き、参加者アンケートを集め、質問に答える、「全体の奉仕者とは」「自治研活動」

【四国ブロック】
安全安心の地域を支える自治体を
働く誇りが持てる職場を!



県本部女性部は12月15日「定期大会」を開催し11単組34人が参加。水本部長が、対象者の大半が女性となる会計年度職員制度、地球温暖化、日本のジェンダーギャップ指数などについて話し「ひとりでは心配で困難なことも、チカラをあわせて実現するために、女性部の大切さを共有し交流しましょう」と開会あいさつ。経過報告、保育部会・保健師部会報告、自治はた参加報告に続いて単組の発言があり、多彩な女性部活動が報告されました。午後、大阪府職労委員長の小松康則さんを講師に全員参加型の『女性

【山】 現業職場の必要性訴え 正規採用めざし要求しよう



松山市職労は11月25日「定期大会」を開催し70人が参加。高橋委員長が「現業正規採用に向けて、全国と情報交換しながら、職場で議論していきたい」とあいさつ。経過報告では、①1年間に19人が組合に加入、②会計年度職員制度で人事課と協議を重ね「現給保障」含め制度

を確定、③10月全国野球大会でスタッフとして大会を縁の下で支えたなど報告。運動方針では、①災害の多発で現業職員の必要性が再認識されている今、新規採用に結び付ける、②会計年度職員制度や定年延長などで職員に不利益とならないよう要求していく、③保育部会の結成をめざすなど提案し、全員の拍手で承認終了後は恒例「懇親会」に40人が参加しました。

【自治体一般】 「会計年度職員、ハラスメント対策、昼休み休憩で県人事課交渉実施



県自治体一般労組は12月16日、県人事課と「団体交渉」を実施し3人が参加。「人事課回答」では、県嘱託警備員の会計年度職員制度は、①採用は公募原則で2月頃を予定、②仮眠時間・手待ち時間を除き、通勤時間は38時間45分未満でパート任用、③給料表は「技能労

務職給料表」使用。パワハラについては、管理職研修を実施し、管理職から職員に周知。相談事例などにも研修会で報告・共有などの回答があり、組合から「手待ち時間や仮眠も拘束時間で、労働時間と考えるべき」「組合員から職場でハラスメントを受けていると聞いた改善へ対策を」「会計年度任用職員制度施行後も組合との協議・交渉継続を」など要望しました。

【久万高原】 ボウリングと懇親会と交流 「いい企画。今後も定期開催を」



久万高原町職は11月30日、久々の組合員交流企画として「ボウリング大会&懇親会」を松山市内で開催し本庁や病院から15人が参加。中野副委員長が「チーム分けとポイントルール」を説明し、豪華賞品が発表されるとさっそく盛り上がり、1チーム3人のチーム戦で、ス

トライクが出るたびにハイトッチが交わされ歓声が起こりました。ボウリング後は近くの居酒屋に移動し「懇親会」を開催。ボウリングの成績は、チーム総得点に「クジ引きによる特別加点」ルールで、参加者がクジを引くたびに順位が入れ替わり、ここでも歓声が。参加者からは「交流できて組合らしい企画で楽しかった！定期的で開催して」との声がありました。

【新居浜】 保育講演会。爆笑し盛り上がり 体感しながら楽しく学びました



新居浜市職労保育部会は12月13日「おはなしや

えつちゃん」こと武知悦子さんを講師に「絵本とおはなしと遊ぼう！」と題した「保育講演会」を開催し51人が参加。この講演会は「みんなと一緒に声を出しながら絵本を楽しんで『体感』しよう」と企画。「お話CAFÉ」で特に人気の絵本の読み聞かせや手遊びを交えて、子どもを引きつける声かけなどを実際に行い、み

んなで体感し学びあいました。後半「パネルシアター」や「クリスマスのお話の世界」で引きつけられ、一番盛り上がったのが腹話術の「りおくん」の登場で、会場は爆笑の大盛り上がり。日頃の疲れもふっとぶ楽しい講演会となりました。参加者からは「まず自分が楽しくないと子どもたちには伝えられない」という言葉にはっとした。などたくさん感想が聞かれました。

【青年部】 冬晴れのもと7回目の「フットサル大会」交流！



県本部青年部は12月15日「第7回フットサル大会」を伊予市双海町で開催し、4単組12人が参加。2チームに分かれて3試合を行いました。途中休憩がてら「的当てミニゲーム」も楽しんで景品をゲット。意外と「的当て」の難易度が高く全員が4回

チャレンジし、「これ時間内に終わる？(笑)」の声もありました。フットサル経験者もそうでない人も一緒に楽しく運動し、交流できる青年部企画となりました。運動後は昼食タイムでいろいろな話をして交流しました。

【内子】 青年部ボウリングと忘年会 「内子のチカラで盛り上げよう」



内子町職青年部は12月13日「ボウリング大会&忘年会」に20人が参加。ボウリングは3人1組でチームを組み、点数を競い、優勝チームが豪華景品をゲット！職場の違う職員がチカラをあわせて盛り上がりました。忘年会では職場の悩みも話し

ながら、寒い冬にピッタリの鍋料理を堪能。ボウリング順位発表や景品プレゼントを行い、職場や職種を超えて交流しました。山中副委員長が「青年部のチカラで来年も組合を盛り上げよう！」とあいさつし閉会しました。

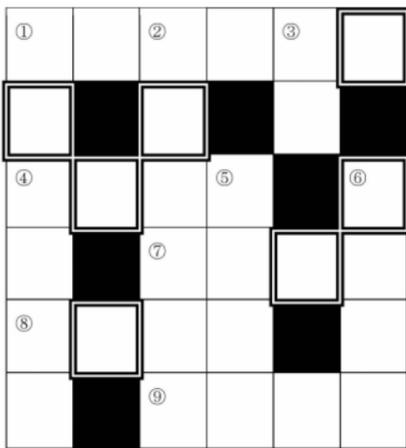
マス目を埋め、二重枠の7文字で、王様にして下さい。

【ヨコのカギ】

- ①休みなく働きつめること
- ④バラエティ番組で出演者をだましたりいたずらを仕掛けること
- ⑦旅の客を宿泊させる和風の館。やどや
- ⑧ニュートンが発見「〇〇〇〇引力」
- ⑨漢字の部首。牡、牝、特など

【タテのカギ】

- ①堅表紙の本。〇〇〇〇〇〇⇨ソフトカバー
- ②飛行機が飛行中に受ける大気の強い乱れ
- ③俗に「宝塚歌劇団」の略。〇〇ファン
- ⑤窮鳥懐に入れば〇〇〇〇も殺さず
- ⑥細かい点にまで心をくばるさま。入念



出題者 堀川孝行

■514号のバズルの答えは「ツガルカイキョウ」(津軽海峡)でした。正解は11通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

- 永易久幸(新居浜清掃)
- 杉 まき子(西条)
- 大内 隆成(今治)
- 中村 崇志(松山)
- 小林 弘樹(津島吉田)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送付先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】2月27日【発表】518号(3月号)

おたより ありがとう

■師走というだけあって12月はあっという間に過ぎて行きます。新年に向けて、今年の目標を立てているところですよ！ (宇和島・新城)

■一年過ぎるのが年々早く感じます。あれこれ悩みにすぎず躊躇はかりしてたらもったいないですね。(今治・白石)

■若い頃は「何かいいことありますように」と思っていた…。今は「毎日が無事で過せませうように」と変わった。平凡でもいい。日々、無事でありませうに。(西条・杉)

■昔、一人旅で函館から津軽海峡の下を走る青函トンネルを車で通ったことを思い出しました。津軽海峡の下には2つもの駅があったのを覚えていません…。ただ、当時住んでいた沖繩からの旅費はけっこう高かったのも、忘れられない思い出です(笑) (西予・山里)